

みしま野

いおじんじゃ 井於神社

蔵垣内と書いて「くらかきうち」と呼ぶ街が、茨木市の南西の端、もう其処は摂津市と接する位置で吹田市にも程近い所にある。嘗てこの周辺は宇野辺・丑寅と呼ばれる街と共に「三宅村」と呼ばれており、1957年茨木市に併合された。地名の「三宅」は「屯倉」にも通じており、その名残が現在の地名にも反映されている。茨木市太田には伝継体天皇陵とされる古墳があり、高槻にも現在発掘調査中の今城塚（継体天皇陵とする説もある）があることから、この地は大和政権が直接支配した直営農地「屯倉」であり、農地の源である水を祀る神社がこの井於神社であったとされている。

井於神社と書いて「いおじんじゃ」とも「いのべじんじゃ」とも読むとされている。起源については不詳であるが、927年に編



正面からみた拝殿



拝殿と本殿をのぞむ



鳥居から参道をのぞむ

所在地：茨木市蔵垣内 3-5-15
最寄駅：JR 千里丘駅下車 徒歩約 10 分
TEL：072-622-8689 FAX：不詳
問い合わせ先は不詳
見学は自由

纂された延喜式に「キノヘノ神社」と記されており、その創建は古く、大和政権支配下の時代に水を祀る神社として鎮座された事を裏付けている。井於神社はもともと宇野辺にあったものを享徳年間（1452年～1454年）に現在の位置に遷座したとされており、「宇野辺（うのべ）」は「イノヘ」が訛った地名であるとも言われている。

現在、境内に散在している堂宇は拝殿・本殿と共に神楽殿、巖島神社・大黒社・水神社・八幡神社・皇大神社等の摂社が合祀されている。拝殿は入母屋造り・本瓦葺きで武骨な形態の中にも凛とした趣を備えており、本殿は三間社流造り・銅板葺きの流麗な趣の建造物である。夏・秋の祭礼の時期には出店もあり賑やかな境内となるが、普段は静寂な境内の中に参詣者の拍手の音だけが響き渡っている。（神保 勲）